

令和6年度

埋蔵文化財公開講座 ・遺跡報告会

入場無料

1月25日 令和7年 土

13:00 → 16:30
(開場 12:30 閉場 16:40)

会場 いわて県民情報交流センター
アイーナ7F 小田島組☆ほ～る

第1部 埋蔵文化財公開講座

13:10 → 14:40

「日本人と食の関わり －自然の恵み、人々の知恵－」

講師
国立科学博物館 館長 篠田 謙一氏

第2部 遺跡報告会

14:55 → 16:30

- ◆ テーマ関連報告
「三陸の海の幸・山の幸
－復興発掘調査から見た沿岸の食文化－」
- ◆ 令和6年度調査遺跡速報



岩手県政 150周年 記念
(R4~R8)

(公財) 岩手県文化振興事業団
創立 40周年 記念



プログラム

12:30	開場
13:00	開会行事
13:10	第1部 埋蔵文化財公開講座 『日本人と食の関わり —自然の恵み、人々の知恵—』
講師 国立科学博物館 館長 篠田 謙一氏	
14:40	休憩
14:55	第2部 遺跡報告会 ●テーマ関連報告 「三陸の海の幸・山の幸 —復興発掘調査から見た沿岸の食文化—」 ◆概要 ◆縄文時代の食 ◆平安時代の塩づくり ●令和6年度調査遺跡速報 ◆令和6年度調査概要 ◆中埴Ⅲ遺跡(住田町)
16:30	閉会
16:40	閉場



内田貝塚 魚骨の出土状況



中埴Ⅲ遺跡 縄文時代晩期の竪穴住居

会場案内



令和6年度 埋蔵文化財公開講座

日本人と食の関わり —自然の恵み、人々の知恵—

食は私たちが生きていく上で、欠かすことのできない営みのひとつです。そのため世界の各地で、それぞれの土地の食材と人々の知恵によって料理が生み出されてきました。日本には2013年にユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」があります。この講演では、日本列島の人類集団の成立のシナリオを概観し、私たちの祖先と食の関わり、和食の成立について解説します。

国立科学博物館 館長



しのだ けんいち

篠田 謙一氏 profile

経歴

- 1955年 静岡県生まれ
- 1979年 京都大学理学部卒業
産業医科大学解剖学講座助手
- 1996年 佐賀医科大学助教授、博士(医学)
- 2003年 国立科学博物館勤務
- 2014年 国立科学博物館 人類研究部長
- 2021年 国立科学博物館 館長

専門

・DNA人類学

日本及び周辺地域から出土した古人骨に残るDNAを解析して、日本人の起源と形成を明らかにする研究を行っている。

主な著書

- ・「DNAで語る日本人起源論」岩波書店、2015年
- ・「新版日本人になった祖先たち」NHK出版、2019年
- ・「人類の起源」中公新書、2022年

特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」の全国巡回展2023～2025年の監修者。岩手県からは長谷堂貝塚・内田貝塚(大船渡市)、沢田Ⅲ遺跡(山田町)の出土遺物を出品している。